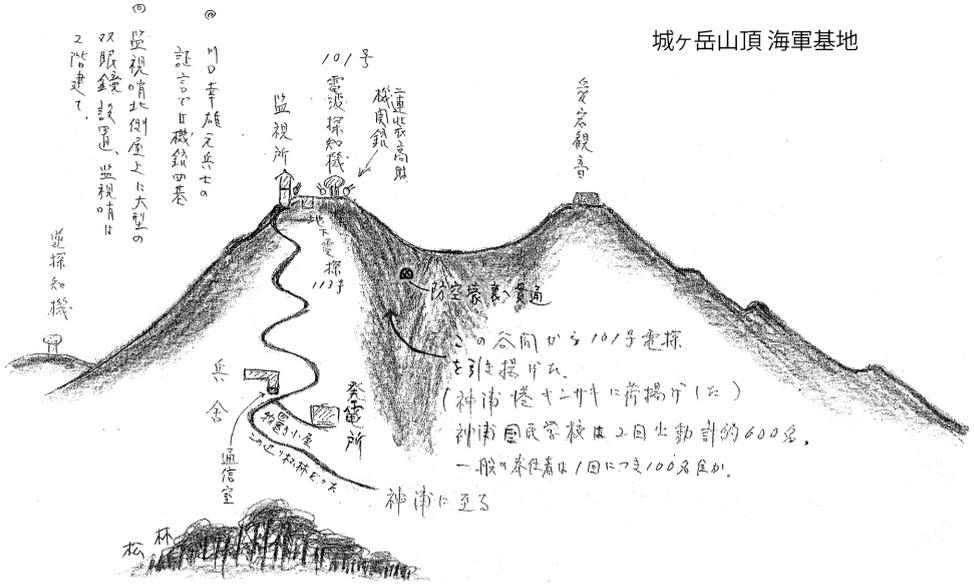


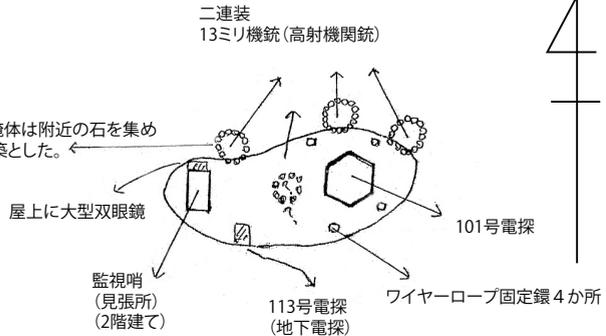
城ヶ岳(しろがだけ)は、宇久島の中心にそびえ、頂上からは東に平戸島、北に生月、大島、杵岐、対馬を一望に出来ます。戦時中は軍港のあった佐世保の守備のため、海軍が開発した電波探知機(レーダー)を設置した基地が造られました。

本書の取材中、宇久町の山田康博氏より城ヶ岳の海軍基地についての絵図をいただきましたが、写真集という性質上、掲載はしませんでした。貴重な資料であるにもかかわらず、残す術がないとのことで、ここに掲載させていただきます。(山田氏自身の手によるものと、編集部で書き起こした文です)



城ヶ岳山頂 海軍基地の構造 (佐世保警備隊宇久分遣隊)

前田 勉(旧姓:玉寄)氏 証言 昭和18年8月勤務



◎101号電探(大型) 高さ、約4メートル、中約3メートル(昭和18年)

◎113号電探(小型) 地下にあった(通称13号電探といった。)

※101号電探は、風速20メートル以上になると、270度(西方白瀬の方位)に向けて四方のコンクリートの取り付け鉤にワイヤーロープで固定した。

◎土山 幸雄(旧姓:川口)氏の証言 4箇所(昭和18年8月勤務)

◎もう1か所の機銃設置場所不詳 101号電探の左後方か?

私が佐世保へ転出した後に設置されたのか。昭和20年3月までは、未だ機銃は無く掩体の石積みの工事中であった。